

## ●評価規準案

月	配当時間	部	学 習 内 容 (目次)	評 価 の 観 点			評価の方法
				主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能	
4月	13時間	第1部 「公共」とはなんだろう	第1章 社会で生きるということ (4時間)				
			1 私たちと青年期 公共ステップアップ① 欲求と葛藤 2 私たちと社会 3 人間の社会と文化 ズームアップ① 世界の宗教	青年期がどんな時期であるかを客観的に学びつつ、自身の人生について考えようとしている。 自分自身が公共的な空間をかたちづくる一員であるという、主体的な自覚を深めている。 他者と協働して社会を作り出すことの意義を主体的にとらえている。 公共的な空間において、自分の価値観と同時に、他者の価値観への配慮や尊重が重要であるという姿勢を持っている。	青年期について、自らの人生について思索し、自身の生き方の方や考え方について整理してまとめることができる。 公共的な空間を構成している一員として、他者と協働してどんな社会を作るか、考え、表現できる。 多様な価値観や伝統・文化について、具体的な事例を挙げて考察したり、発表できる。	青年期について、基本的な社会学・心理学的な知識を習得している。 さまざまなコミュニティや、伝統・文化などについて考察し、人間が社会的存在であることの意義を理解している。 世界のおもな宗教について、基本的な知識を習得している。	【態度】【思判表】 【技】 ワークシート、プレゼンテーション 【知】 小テスト
			第2章 みんなが幸せな社会とは？ (5時間)				
5月			1 よく生きるとは？ 徳 ズームアップ② 世界の思想 ズームアップ③ 日本の思想 2 幸福な社会とは？ 功利主義 3 幸福な社会とは？ 正義の原理 公共ステップアップ② 生命と科学技術の問題と倫理 公共ステップアップ③ 環境問題と人間の活動 ヴィジュアル資料室 地球環境問題	先人の思想について、積極的に関心を持って学ぼうとしている。 よりよい社会のあり方について、先人の思想も参考に、考えようとしている。 生命倫理の問題や環境問題について、自分と関わりのあることととらえようとしている。	幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方について考察し、社会のあり方について考える際の参考にできる。 人間の生き方や社会のあり方について考察した先人の思想について、基本的な知識を説明できる。 世界や日本の思想について、基本的な知識を説明できる。 生命倫理や環境倫理の事例について、資料を読み取って考察し、自分の意見を表現できる。	世界や日本の思想、先人の考察や構想について基本的な知識を習得し、それらが社会のあり方に影響していることを理解している。 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 生命倫理や地球環境問題について、どんな問題があるのか、基本的な知識を習得している。	【態度】【思判表】 【技】 ワークシート、プレゼンテーション 【知】 小テスト
			第3章 社会生活と法・ルール (4時間)				
6月			1 社会と法 2 法はなぜ必要なのか 公共ステップアップ④ 社会のルールをどうつくる？ オピニオン① アフターメディア・アクション 不利な立場を考慮する措置は必要？ それとも「逆差別」？	他者とともに生きる公共的な空間における基本原理として、ルールや法の意義について理解を深め、その策定についても主体的にとらえようとしている。 平等、公正、差別について、格差を是正するための措置の事例を通じて、具体的に考察しようとしている。	法や社会のルールの意義について、考察し、説明できる。 自分がルールを作る主体となることを想定して、ルール作成にはどんなことが必要かを考え、説明できる。 必要に応じて試案を作成し、表現できる。	人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保をともに図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 法や規範の意義及び役割、自由・権利と責任・義務、契約など、公共的な空間における基本原理について理解している。	【態度】【思判表】 【技】 ワークシート、プレゼンテーション 【知】 小テスト
6時間			第1章 私たちの社会と憲法 (6時間)				
			1 個人の尊重と社会 2 民主主義と立憲主義 3 日本国憲法の成立と基本原理 ヴィジュアル資料室 「あたらしい憲法のはなし」とみる 日本国憲法 4 自由権 5 平等権 6 社会権 7 参政権・請求権 公共の福祉 公共ステップアップ⑤ 政治に参加する方法 8 新しい人権	個人の尊重や民主主義、立憲主義の意義について、理解を深めようとしている。 日本国憲法の定める権利について、その背景や意義と合わせて、積極的に理解しようとしている。これらの権利について、判例や事例などを通じて、具体的にとらえようとしている。	個人の尊重、民主主義、立憲主義といった基本原理について、どのようなものか、説明できる。 日本国憲法の定める権利について、基本的な知識を説明できる。 請願など、さまざまな政治参加の方法があることを学び、地域の課題などを見だし、解決・改善のための方策を考え、要望を適切に表現できる。	人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配などの、個人と社会の関係を成り立たせる基本原理について、しくみや意義を理解している。 日本国憲法の成り立ちや基本原理、日本国憲法の自由権、平等権、社会権、「新しい人権」について、基本的な知識を習得している。	【態度】【思判表】 【技】 ワークシート、討論 【知】【思判表】 定期テスト
			第2章 私たちの生活と政治 (12時間)				
9月	12時間		1 日本の統治機構 ズームアップ④ 世界の統治機構 2 国会のしくみとはたらき 3 内閣と国の行政機関 4 司法権と裁判のしくみ 5 紛争解決のしくみ 公共ステップアップ⑥ あなたも法廷に？ 裁判員制度 6 地方自治の役割と現状 7 選挙のしくみ 8 政党と政治参加 ズームアップ⑤ 世界の選挙事情 ズームアップ⑥ 世界の政治参加 9 民主政治の原理と世論 公共ステップアップ⑦ 情報発信のしかたに注意！	日本の政治・司法のしくみと課題について理解し、よりよい社会の実現のため、自分が主体的に政治に参加する姿勢を持つようとしている。 裁判員制度や紛争解決、選挙、地方自治、世論の形成などを、自分に関わるものとして、とらえようとしている。 情報モラル・情報リテラシーについて、自分が情報受信・発信の主体になり得ることを念頭に、理解しようとしている。	日本の政治の基本的なしくみについて、説明できる。 現在の日本の政治の問題を把握し、解決・改善するためにはどうすればよいか、改善策や要望を考えてみて、表現することができる。	日本の統治機構や、日本の国会・内閣・行政のしくみとはたらきについて、基本的な知識を習得している。 裁判所や裁判のしくみとはたらき、裁判以外の紛争解決のしくみについて、基本的な知識を習得している。 地方自治のしくみと役割について理解している。 選挙のしくみ、民主政治において世論が果たす役割と課題について理解している。	【態度】【思判表】 【技】 ワークシート、課題レポート 【知】 小テスト

月	配当 時間	部	学 習 内 容 (目次)	評 価 の 観 点			評価の方法
				主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能	
1 0 月	4 時 間	第2部 現代社会のしくみと課題	第3章 平和主義と日本 (4時間)				
			1 日本の平和主義と憲法 2 日本の安全保障政策 3 日本の外交と平和な社会の構築 オピニオン② 日本国憲法 改正は必要? 必要ではないか?	日本の平和主義と安全保障について、これまでの経緯と現状について、積極的に知ったり理解しようとしてしている。  日本と世界の平和のために、これからの日本がどのような安全保障政策・外交を行っていくべきか、考えてみようとしている。	日本のこれからの安全保障政策について、どうしていくべきか、学んだことなどをもとに考えて判断し、意見を述べることができる。  日本の外交について、日本の国益と世界の国々の平和と安定のために、どんな政策をとっていくべきか、さまざまな情勢や事例を調べて、意見を述べることができる。  日本国憲法について、改正が必要かどうか、さまざまな意見を検討してそれらをもとに考えて判断し、自分の意見を形成することができる。	日本国憲法の平和主義、自衛隊の成り立ちと役割、日本の安全保障政策について、基本的な知識を習得している。  日本の外国との関係や世界の中での位置づけ、基地問題、食料などさまざまな分野の安全保障、日本の外交や国際協力などについて、理解している。	【態度】【思判表】【技】 ワークシート、 討論 【知】 小テスト
1 1 月	12 時 間	第2部 現代社会のしくみと課題	第4章 私たちの生活と経済 (12時間)				
			1 私たちの生活と経済活動 スームアップ⑦ 経済思想と経済体制 2 市場経済のしくみ スームアップ⑧ 需要曲線・供給曲線のシフト スームアップ⑨ 非価格競争 3 市場の限界と対応 4 企業の経済的役割 5 金融機関の役割 公共ステップアップ⑩ くらしの中の金融と社会 6 国民経済と景気変動 7 政府の経済的な役割 8 税と日本の財政の課題	経済の基本的なしくみについて学び、市場経済を、民間と公共の観点からとらえようとしている。  経済の構造が自分の生活とどのように関わるか、考えてみようとしている。	経済の基本的なしくみについて、説明できる。  市場の失敗や景気変動など資本主義の課題に対し、政府がどう介入しているのか、またその意義や是非を説明できる。  企業や金融の基本的なしくみやはたらきについて、説明できる。  市場経済や、民間部門、税と財政・経済政策など政府の対応について、どんな問題があるか、それに対しどのような対策・政策をとるべきか考え、自分の意見を説明できる。	市場メカニズムなど、経済の基礎的なしくみと概念について基本的な知識を習得している。  企業や金融のしくみとはたらきについて理解している。  GDPやGNI、経済成長や景気循環など、経済を大きくとらえる基礎的な経済指標について理解している。  財政や租税のしくみと機能、経済における政府の役割を、理解している。	【態度】【思判表】【技】 ワークシート、 課題レポート 【知】 定期テスト
1 2 月	12 時 間	第2部 現代社会のしくみと課題	Check Box① 日本経済の進展① Check Box② 日本経済の進展② 9 さまざまな産業とその変化 公共ステップアップ⑨ 職業の選択 10 労働に関する制度と課題 公共ステップアップ⑩ 労働契約と労働法 公共ステップアップ⑪ 契約と消費者問題 11 社会保障制度の意義 公共ステップアップ⑫ くらしの中の社会保障 スームアップ⑩ よりよい経済社会をめざして	日本の経済の現状を把握しようとしている。  職業の選択や消費者問題、社会保障などについて、経済や政治の大きな枠組みの観点と、自分や自分の周りの人たちの生活やライフプランとを関連づけて、とらえようとしている。  必要に応じて、法律や制度を確認したり利用したりすること、を、主体的にとらえることができる。	高度経済成長期以降の日本経済のおもなうごきについて、説明できる。  労働契約や消費者の契約における問題とそれに対応する法制的意義、社会保障と財政の課題について、説明できる。それらについての政策を探ることが望ましいか、考え、表現できる。  自らの職業の選択基準について、自分の意見を形成し、表現できる。	戦後の日本の経済の歴史や産業の変化について、基本的な流れを把握している。  労働者の権利と法制、日本の労働の状況について理解している。  労働契約や消費における契約、消費者の権利と責任について理解している。  社会保障制度の内容と課題について理解している。	【態度】【思判表】【技】 ワークシート、 課題レポート 【知】 小テスト
			第5章 国際政治・経済と日本 (8時間)				
1 月	8 時 間	第2部 現代社会のしくみと課題	1 国際社会と国際法 2 国際連合と国際機関 Check Box③ 国際社会の動向と日本 3 軍縮と平和への取り組み 公共ステップアップ⑬ 平和を構築するには Check Box④ 世界経済の動向 4 貿易・外国為替 5 発展途上国・地域経済統合 公共ステップアップ⑭ 経済のグローバル化と相互依存 6 持続可能な国際社会 公共ステップアップ⑮ 日本の国際貢献を考える オピニオン③ 国際的な人権 共通の価値観を形成・合意できる? できない?	世界の政治・経済においてどんな問題があるかどんな対策が行われてきたかを把握し、平和で豊かな国際社会の形成のためにどんなことが必要か、自分にできることがあるか、学んだ知識を土台として、考えてみようとしている。	国際政治・経済におけるさまざまな問題について、どのような論点があるかを把握し、説明できる。  国際的な問題に対して、解決のために日本や個人でできることがあるか考えて、意見を述べることができる。  国際的な人権の理念と実効性について、考え、自分の意見を説明できる。	国際社会における国家主権の意味、国際法の意義とその発達、国際連合と国際機関の意義と役割について、基本的な知識を習得している。  第二次世界大戦後における世界の政治の基本的な流れを把握している。  核拡散防止の現状と核軍縮に向けた取り組みについて理解している。  第二次世界大戦後における世界の経済の基本的な流れを把握している。  自由貿易とはどういうものか、自由貿易が拡大した背景やその影響(相互依存など)、外国為替や国際収支について理解している。  発展途上国の問題や新興国の台頭、地域的経済統合の意義と課題について理解している。	【態度】【思判表】【技】 ワークシート、 討論 【知】 小テスト
			私たちが創る持続可能な社会 (10時間)				
3 月	10 時 間	第3部 持続可能な社会 私たちが創る	1 いきいきとした地域を創るには 2 少子高齢社会の現在と将来 3 情報社会 個人情報の扱いは? 4 持続可能な資源・エネルギー利用とは 5 地球温暖化に国際社会で取り組むには  課題探究のスキル	持続可能な社会をつくることを目標として、自ら問題を見だし、課題を設定し、主体的に探究したり、課題解決の方法を考えたりしようとしている。  社会は他者とともに生きる公共の場であることを意識し、多様な人びと・多様な価値観を視野に入れて、ものごとをとらえることができる。	自ら思考し、判断して、課題を見いだしたり、必要な調査・資料収集をし、分析したり構想したりできる。  自分の課題探究の成果を、文章やグラフ等の資料、プレゼンテーション素材にまとめ、他の人にもわかりやすいように発表することができる。  必要に応じて、協働して思考・判断・表現の作業を行うことができる。	第3部は、第1部・第2部で習得した公共的な見方・考え方や知識を元に課題探究学習を行うこととなっているが、第3部の各項目や、自分の設定した課題の探究活動を行う上で必要な基礎知識を習得している。  課題探究や問題解決に取り組むうえで、課題の設定、資料の収集・分析、ディベートなどのグループワーク、構想の作成、小論文作成やプレゼンテーションなどの発表といった、技能を適切に用いることができる。	【態度】【思判表】【技】 ワークシート、 ランキング、 小論文、 構想図